

(3) 成績評定審査基準（土木等）

1. 通 則

評定は、正確な資料及び監督職員の業務又は検査職員により確認した事実に基づき、業務の案件等を勘案の上、評定者ごとに独立して的確かつ公正に行うものとする。

2. 適用対象業務

- 地質調査業務
- 単純調査業務（別掲）
- 測量業務
- 調査業務及び計画業務
- 設計業務「概略・予備設計」
- 設計業務「詳細設計」

3. 適用対象外の業務

- 現場技術業務
- 河川・道路関係等の巡視業務
- 機械等点検保守業務
- 清掃等の維持管理的な作業業務
- その他評定となる成果物がない業務
- 公益法人と随意契約した業務

4. 評価項目

評定は次に掲げる評価項目について行うものとする。

評 価 項 目		
プロセス評価	実施能力の評価	実施体制及び執行計画
	実施状況の評価	執行管理
		品質管理
		業務特性
		創意工夫
	説明調整能力の評価	説明調整能力
	取組姿勢	責任感・積極性・倫理観
結果評価	成果物の品質	
事故等による減点		
履行の追完、損害賠償、代金の減額の請求又は契約の解除による減点		

5. 評定方法

① 評定については、採点表（別紙2）の各評価項目について評価を行い、業務委託成績評定表（別紙1）を作成するものとする。

② 業務委託の総合評定点は、次により算出するものとする。

$$\text{総合評定点} = (\text{監督職員の評定点}) \times 0.6 + (\text{検査職員の評定点}) \times 0.4 + (\text{事故等による減点})$$

この場合、各評価項目の評定点及び総合評定点の算出にあたっては、少数第1位を四捨五入するものとする。

6. 評価項目と評定者の関係について

評価項目と評定者の関係は以下の通りとし、それぞれの採点表により評定する。

評価項目			補助監督 職員	監督職員	検査職員
プロセス 評価	実施能力 の評価	実施体制及び執行計画	○	○	○
	実施状況 の評価	執行管理	○	—	—
		品質管理	○	—	○
		業務特性	—		—
		創意工夫	○	—	—
	説明調整能力 の評価	説明調整能力	○	—	—
	取組姿勢	責任感・積極性 ・倫理観	—	○	—
結果 評価	成果物の品質		○	—	○

7. 監督職員の考査基準

（1）考査方法

監督職員は、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、それぞれ総合的に評定を行う。

（2）評定点範囲

採点表（監督職員用）の該当評価項目について、それぞれ総合的に判断して評定するものとする。

8. 補助監督職員及び検査職員の考査基準

評定にあたっては、当該業務の履行状況に応じ、各評価項目の評定を行うものとする。
（評価項目の追加、削除、もしくは評価比重の変更は行わない）

9. 「単純調査等業務」について

「調査業務、計画業務」は、広範かつ高度な専門的知識が要求される業務や高度な技術と豊かな経験が要求される業務といった比較的難易度の高い調査業務に対応するものであるため、これについては「調査業務、計画業務」採点表を使用するものとする。しかしながら、これらの業務の中には、高度な技術力をそれほど必要としない単純なデータ処理業務や資料収集・整理業務等も含まれることから、これらを「単純調査等業務」と定義し、「測量業務、地質調査、単純調査等業務」採点表を用いて評定するものとする。

なお、「単純調査等業務」の主な対象業務については、以下に示すものとする。

「単純調査等業務」

- | | |
|--------------|--|
| ・ 各部門共通 | 単純なデータ収集整理業務
単純なデータ処理業務
書類編集的な業務
文献収集業務 |
| ・ 河川、砂防及び海岸 | 水理・水文観測業務
データ加工業務（降雨解析等）
不等流計算等の計算業務（システム開発を除く）
補償数量の算出
工事記録等資料の分類・整理
工事図面集、写真集等の作成 |
| ・ 道路 | 一般的な現地踏査
一般的な交通量観測業務
台帳整理等を目的とした資料収集業務 |
| ・ トンネル | クラック等変状の計測調査 |
| ・ 施工計画及び施工設備 | 施工関連資料の収集整理 |
| ・ 情報 | 定期的なデータメンテナンス
資料収集的な業務
単純なデータ作成のみの業務 |
| ・ 防災 | 資料収集的な業務 |
| ・ 環境 | 大気汚染、水質汚濁、騒音、土壌汚染、振動等調査・分析方法が
J I S等で規定されている測定業務 |

10. 総合評定点について

総合評定点を算出する際には、対象業務に応じて評価項目ごとに以下の重み付けを考慮する。

評 価 項 目			業務評定
プロセス評価	実施能力の評価	実施体制及び執行計画	2 0
	実施状況の評価	執行管理	5
		品質管理	2 0
		業務特性	1 0
		創意工夫	4
	説明調整能力の評価	説明調整能力	6
	取組姿勢	責任感・積極性・倫理観	5
結果評価	成果物の品質		3 0
合 計			1 0 0

業務委託成績評定表													
(3)地質調査業務			令和 年 月 日										
			事務所名: 局 部 課										
業 務 名													
契 約 金 額		当初:				円		最終:				円	
履 行 期 間		当初:		令和 年 月 日		～ 令和 年 月 日		最終:		令和 年 月 日		～ 令和 年 月 日	
契 約 番 号				第				号					
完 了 年 月 日				令和 年 月 日									
完 了 検 査 年 月 日				令和 年 月 日									
契 約 相 手 方 住 所 氏 名		所在地											
		名称						役職 氏名					
管 理 技 術 者 氏 名													
照 査 技 術 者 氏 名 ①													
照 査 技 術 者 氏 名 ②													
業 務 責 任 者 氏 名													
主 任 技 術 者 氏 名													
担 当 技 術 者 氏 名 ①													
担 当 技 術 者 氏 名 ②													
担 当 技 術 者 氏 名 ③													
監 督 職 員 所 属 ・ 氏 名													
補 助 監 督 職 員 所 属 ・ 氏 名													
検 査 職 員 所 属 ・ 氏 名													
評 価 項 目			業務評定 (注1) (⑤×0.4+⑥×0.2+⑦×0.4)			補助監督職員 (注1) ⑤	監督職員 (注1) ⑥	検査職員 (注1) ⑦					
			評定点	評価点	基礎点								
プ ロ セ ス 評 価	実施能力の 評価	実施体制及び 執行計画			12.0								
	実施状況の 評価	執行管理			3.0		—	—					
		品質管理			12.0		—						
		業務特性			6.0	—		—					
		創意工夫			2.4		—	—					
	説明調整能力の 評価	説明調整能力			3.6		—	—					
	取組姿勢	責任感・積極性・ 倫理観			3.0	—		—					
結果評 価	成果品の品質				18.0		—						
①小計 (注2)					60	—	—	—					
②事故等による減点						—	—	—					
③瑕疵修補又は損害賠償による減点						—	—	—					
④その他()						—	—	—					
総合評定点＝①＋②＋③＋④						—	—	—					
所 見		補助監督職員			監督職員			検査職員					

注) 1. 各評価項目の評定点は、小数第二位を四捨五入して表示している。
2. ①小計は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

(3)地質調査業務

(補助監督職員1／9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	－	2.5	－	0	－2.5	－5
実施能力 の評価	実施体制 と執行計 画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)	(選択)のチェックボックスに赤色着色がある項目は基本「必須」項目 ☒ ☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☒ ☐ 3. 主任技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☒ ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☒ ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ☒ ☐ 6. 業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な 手順、手法である。 ☒ ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ ☐ 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。 ☐ ☐ 9. その他 [] (対象:主任、担当技術者)							☐ 実施体制及び 執行計画につ いて、監督職 員が文書で改 善指示を行っ た。	☐ 実施体制及び 執行計画につ いて、監督職 員の文書によ る改善指示に 従わなかった。
◎評定は1～9のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)						

(3)地質調査業務

(補助監督職員2／9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					5	－	2.5	－	0	-2.5	-5	
実施状況 の評価	執行管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)									☐ 執行管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		☒ ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ☒ ☐ 2. 契約締結後すみやかに業務に着手している。 ☐ ☐ 3. テクリスへの登録申請を監督職員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ☒ ☐ 4. 監督職員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ ☐ 5. 監督職員の指示事項に迅速に対応している。 ☒ ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☒ ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ ☐ 8. 業務打合せ書は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ ☐ 9. 業務計画書の業務工程(表)は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ ☐ 10. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。										

(3)地質調査業務

(補助監督職員3／9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e		
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5		
実施状況 の評価	執行管理 (2/2)	●評価対象項目 (選択)(評定) ☐ ☐ 11. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 12. 貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 ☐ ☐ 13. 第三者の土地等への立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 14. 第三者の土地への立ち入りにあたって交付を受けた身分証明書は、立入完了後10日以内に返却されている。 ☐ ☐ 15. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 16. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☒ ☐ 17. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 ☐ ☐ 18. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督職員に提出している。 ☐ ☐ 19. その他 [](対象:主任、担当技術者)											
◎評定は1～19のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)=該当項目数(0)／評価対象項目数(0)								

(3)地質調査業務

(補助監督職員4／9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	－	5	－	0	－5	－10	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					28	－	14	－	0	－14	－28	
実施状況 の評価	品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☒ ☐ 1. 業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☒ ☐ 2. 業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 使用にあたって、事前に監督職員の承諾を得ている。 ☐ ☐ 3. 技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 4. 業務の実施にあたり、調査地点の確認を行い、業務実施に必要な現地の状況を把握している。 調査地点の確認に際しては、調査対象項目を整理し、監督職員の承諾を得ている。 ☒ ☐ 5. 資料の提出時に、転記・計算ミスがなく内容のチェックを行っている。 ☐ ☐ 6. 過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 ☒ ☐ 7. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☒ ☐ 8. 主任技術者が業務実施に必要な情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるか について照査が行われている。 ☒ ☐ 9. 実施方針や方法が適切であるかの照査が適正に行われている。									☐ 品質管理につ いて、監督職 員が文書で改 善指示を行っ た。	☐ 品質管理につ いて、監督職 員の文書によ る改善指示に 従わなかった。

(3)地質調査業務

(補助監督職員5／9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	-	5	-	0	-5	-10	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
				28	-	14	-	0	-14	-28		
実施状況 の評価	品質管理 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)										
		☒ ☐ 10. 調査の正確性、適切性に着目し照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 11. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ☒ ☐ 12. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行った。もしくは提案がされている。 ☐ ☐ 13. 資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、監督職員の承諾を得て実施している。 ☒ ☐ 14. 現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、監督職員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 15. その他 [](対象:主任、担当技術者)										
◎評定は1～15のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)												

(3)地質調査業務

(補助監督職員6／9)

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					4	3	2	1	0	—	—
実施状況 の評価	創意工夫 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは調査・解析等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ ☐ 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。									

☐☐☐☐☐☐具体記述()

●評価点

点

* 業務評定、主任技術者、担当技術者の評価に反映。

●判断基準

上記の項目のレ点の数により、4点(a), 3点(a'), 2点(b), 1点(b'), 0点(c)で評価する。

※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。

(例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は4点(a)の加算評価も可)

(3)地質調査業務

(補助監督職員7/9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e		
					6	-	3	-	0	-3	-6		
説明調整 能力の評 価	説明調整 能力 (1/2)	●評価対象項目 (選択)(評定) ☒ ☐ 1. 業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。 ☐ ☐ 2. 業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。 ☒ ☐ 3. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☒ ☐ 4. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☒ ☐ 5. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ ☐ 6. 地質・土質調査業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ ☐ 7. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 ☐ ☐ 8. 関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。 ☐ ☐ 9. 発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ ☐ 10. 車両の運転・駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 ☐ ☐ 11. その他 [](対象:主任、担当技術者)										☐ 説明調整につ いて、監督職 員が文書で改 善指示を行っ た。	☐ 説明調整につ いて、監督職 員の文書によ る改善指示に 従わなかった。

(3)地質調査業務

(補助監督職員8／9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	－	3	－	0	－3	－6
説明調整 能力の評 価	説明調整 能力 (2/2)	◎評価は1～11のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c									
		①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)									

(3)地質調査業務

(補助監督職員9／9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	-	5	-	0	-5	-10	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					12	-	6	-	0	-6	-12	
結果の評 価	成果品の 品質 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)									☐ 成果品について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		☒ ☐ 1. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項が漏れなくとりまとめられている。 ☐☐ 2. 調査地点の確認の結果が、写真や図面によりの確に整理されている。 ☐☐ 3. 写真管理が適切に行われ、状況が容易に把握できる。 ☒ ☐ 4. 調査結果のとりまとめにおいて、ミスがなかった。 ☒ ☐ 5. 調査結果がわかりやすく整理され、工夫が見られる。 ☐☐ 6. 多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し、必要な作業(業務)成果が得られた。 ☒ ☐ 7. 業務報告書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説されとりまとめられている。 ☐☐ 8. その他 []										
◎評定は1～8のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)												

(3)地質調査業務

(監督職員1／3)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
実施能力 の評価	実施体制 と執行計 画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ ☐ ☐ 2. 主任技術者は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 ☐ ☐ 3. 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 ☐ ☐ 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 ☐ ☐ 5. 業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。 ☐ ☐ 6. その他 [] ●評価点 点 * 業務評定、主任技術者の評価に反映。 ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、10点(a), 7.5点(a'), 5点(b), 2.5点(b'), 0点(c), -5点(d), -10点(e)で評価する。 ※監督職員は、補助監督職員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は補助監督職員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は10点(a)評価も可) ※業務執行上の過失として補助監督職員(検査職員)細別評価項目において-5点(d)または-10点(e)評価があった場合、 -5点(d)評価以下とし「その他」に理由を記載すること。									

(3)地質調査業務

(監督職員2／3)

考査項目	細 別	選 択 区 分	評 価 区 分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	－	－
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				25	19	12.5	7	0	－	－	

実施状況
の評価

業務特性
(1/1)

●評価対象項目
(選択) (評定)

☐ ☐ 1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。

☐ ☐ 2. 都市部等の作業環境、社会条件等への対応が評価できる。

☐ ☐ 3. 厳しい自然、地盤条件への対応が評価できる。

☐ ☐ 4. 業務の特殊性への対応が評価できる。

☐ ☐ 5. 関連する事業、工事に配慮する必要がある、その対応が評価できる。

☐ ☐ 6. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、評価できる。

☐ ☐ 7. その他 []

●評価点

点

* 業務評定、主任技術者の評価に反映。

●評価点

点

* 担当技術者の評価に反映。

※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば業務評定、主任技術者は7.5点(b'), 担当技術者は7点(b')評価以上とする。
業務評定、主任技術者は20点(a), 15点(a'), 10点(b), 7.5点(b'), 0点(c)で評価する。
担当技術者は25点(a), 19点(a'), 12.5点(b), 7点(b'), 0点(c)で評価する。

(3)地質調査業務

(監督職員3/3)

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
取組姿勢	責任感・ 積極性・ 倫理観 (1/1)			業務、 主任技術者	10	7.5	5	2.5	0	－	－
				担当技術者	15	12	7.5	4	0	－	－

●評価対象項目
(選択) (評定)

☐ ☐ 1. 業務遂行にあたって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して評価できるものがあった。

☐ ☐ 2. 業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど評価できるものがあった。

☐ ☐ 3. 業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり評価できるものがあった。

☐ ☐ 4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあった。

☐ ☐ 5. その他 []

●評価点

点

* 業務評定、主任技術者の評価に反映。

●評価点

点

* 担当技術者の評価に反映。

●判断基準

上記該当項目を総合的に判断して、業務評定、主任技術者は10点(a), 7.5点(a'), 5点(b), 2.5点(b'), 0点(c)で評価する。
 担当技術者は15点(a), 12点(a'), 7.5点(b), 4点(b'), 0点(c)で評価する。

※監督職員は、補助監督職員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。
 (業務履行過程での日々の対応の評価は補助監督職員が実施)

※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。
 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は業務評定、主任技術者は10点(a), 担当技術者は15点(a)評価も可)

(3)地質調査業務

(検査職員1/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
実施能力 の評価	実施体制 と執行計 画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 1. 主任技術者は、業務遂行段階で適切に照査技術者による照査を受け、その内容を把握して ☒ ☐ 2. 業務計画書が契約締結後すみやかに提出されている。 ☒ ☐ 3. 業務計画書は、設計図書に定められた必要な事項を記載し業務内容に適した業務計画書が提出されている。 ☒ ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足し指摘や修正がない。 ☒ ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図表等による工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ ☐ 6. 業務計画書の記載内容と調査方法が一致し、現地環境を乱さず調査していることが確認できる。 ☐ ☐ 7. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導、管理を行い、かつ、委託先の成果物に対する照査を行っていることが書面で確認できる。 ☐ ☐ 8. 守秘義務について具体的な計画を業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 9. 個人情報の管理に関する管理体制等を業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 10. その他								☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
◎評定は1～10のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)						

(3)地質調査業務

(検査職員2/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	-	5	-	0	-5	-10	
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	-	10	-	0	-10	-20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					12	-	6	-	0	-6	-12	
実施状況 の評価	品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)									☐ 品質管理につ いて、監督職 員が文書で改 善指示を行っ た。	☐ 品質管理につ いて、監督職 員の文書によ る改善指示に 従わなかった。
		☒ ☐ 1. 設計図書の内容を十分に理解し、業務に反映している。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をととして業務の節目においてその成果の確認を行うとともに、自身による照査を行っている。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名捺印の上、主任技術者に提出している。 ☐ ☐ 5. 品質確保のための社内検査体制が確立され、その体制で検査を行ったことが確認できる。 ☒ ☐ 6. 「業務計画書」において成果物の品質を確保する記述があり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☒ ☐ 7. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。 ☒ ☐ 8. 業務遂行にあたり、チェックシート等を作成し、作業中のミス防止の実施に努めている。 ☐ ☐ 9. その他 [] (対象: 主任、担当技術者)										

(3)地質調査業務

(検査職員3/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				10	－	5	－	0	－5	－10	
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	－	10	－	0	－10	－20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					12	－	6	－	0	－6	－12
実施状況 の評価	品質管理 (2/2)	◎評価は1～9のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)									

(3)地質調査業務

(検査職員4/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	－	10	－	0	－10	－20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					28	－	14	－	0	－14	－28	
結果の評 価	成果品の 品質 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)									☐ 成果品について、監督職員 が文書で改善 指示を行っ た。	☐ 成果品について、監督職員 の文書による 改善指示に従 わなかった。
		☒ ☐ 1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。	☒ ☐ 2. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすく整理されている。	☐ ☐ 3. 設計業務への引き継ぎ事項、技術的ポイントが整理されている。	☐ ☐ 4. 調査地点の確認の結果より判明した対応が必要な事項についての対策が記載されている。	☒ ☐ 5. 作業(業務)遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。	☒ ☐ 6. 必要書類等が整備されていた。	☒ ☐ 7. 誤字・脱漏、記載ミスなどが無い。	☒ ☐ 8. 理解しづらい文章表現などがなく、わかりやすい成果となっている。	☒ ☐ 9. 個々の説明において、図や表を活用するなどわかりやすい成果となっている。		

(3)地質調査業務

(検査職員5/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	-	10	-	0	-10	-20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
				28	-	14	-	0	-14	-28		
結果の評 価	成果品の 品質 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 11. 成果物に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。 ☐ ☐ 12. 成果物のチェック方法に工夫が見られた。 ☐ ☐ 13. 成果物は、独自に設定した社内基準を満足し、調査精度の向上に繋がったものである。 ☐ ☐ 14. その他]										
		◎評定は1～14のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c										

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に
チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)

業務委託成績評定表													
(3)単純調査業務			令和 年 月 日										
			事務所名: 局 部 課										
委託業務等名													
契約金額		当初:				円		最終:				円	
履行期間		当初:		令和 年 月 日～令和 年 月 日				最終:		令和 年 月 日～令和 年 月 日			
契約番号				第				号					
完了年月日				令和 年 月 日									
完了検査年月日				令和 年 月 日									
契約相手方住所氏名		所在地											
		名称						役職氏名					
管理技術者氏名													
照査技術者氏名①													
照査技術者氏名②													
業務責任者氏名													
主任技術者氏名													
担当技術者氏名①													
担当技術者氏名②													
担当技術者氏名③													
監督職員所属・氏名													
補助監督職員所属・氏名													
検査職員所属・氏名													
評価項目			業務評定 (注1) (⑤×0.4+⑥×0.2+⑦×0.4)			補助監督職員 (注1) ⑤	監督職員 (注1) ⑥	検査職員 (注1) ⑦					
			評定点	評価点	基礎点								
プロセス評価	実施能力の評価	実施体制及び 執行計画			12.0								
	実施状況の評価	執行管理			3.0		—	—					
		品質管理			12.0		—						
		業務特性			6.0	—		—					
		創意工夫			2.4		—	—					
	説明調整能力の評価	説明調整能力			3.6		—	—					
	取組姿勢	責任感・積極性・ 倫理観			3.0	—		—					
結果評価	成果品の品質				18.0		—						
①小計 (注2)					60	—	—	—					
②事故等による減点						—	—	—					
③瑕疵修補又は損害賠償による減点						—	—	—					
④その他()						—	—	—					
総合評定点=①+②+③+④						—	—	—					
所 見		補助監督職員			監督職員			検査職員					

注) 1. 各評価項目の評定点は、小数第二位を四捨五入して表示している。

2. ①小計は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

考査項目	細別	選択区分	評価区分	業務、主任、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5	
実施能力の評価	実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択)のチェックボックスに赤色着色がある項目は基本「必須」項目 (選択)(評定) ☒ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務に関連する他の業務、事業が理解されている。 ☒ 3. 主任技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☒ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☒ 5. 担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ☒ 6. 業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法である。 ☒ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。 ☐ 9. その他〔〕(対象：主任、担当技術者) ☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員が文書で改善指示を行った。 ☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。										
		◎評定は1～9のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90未満 b 評価値が70%未満 c									①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)	

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)

(3)単純調査業務

(補助監督 2/9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	－	2.5	－	0	-2.5	-5
実施状況 の評価	執行管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 執行管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		☒ ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ☒ ☐ 2. 契約締結後すみやかに業務に着手している。 ☐ ☐ 3. テクリスへの登録申請を監督職員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ☒ ☐ 4. 監督職員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ ☐ 5. 監督職員の指示事項に迅速に対応している。 ☒ ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☒ ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ ☐ 8. 業務打合せ書は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ ☐ 9. 支給材料がある場合、その受払状況を登録した帳簿を備え付け、常にその残高を明らかにし、業務完了時には支給品精算書を提出している。 ☐ ☐ 10. 業務計画書の業務工程(表)は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ ☐ 11. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。									

(3) 単純調査業務

考査項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、主任、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5	
実施状況 の評価	執行管理 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 12. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 13. 貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 ☐ ☐ 14. 第三者の土地等の立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 15. 第三者の土地への立ち入りにあたって交付を受けた身分証明書は、立入完了後10日以内に返却されている。 ☐ ☐ 16. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 17. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☒ ☐ 18. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 ☐ ☐ 19. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督職員に提出している。 ☐ ☐ 20. その他 () (対象:主任、担当技術者) ◎評定は1～20のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c										
		①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)										

(3)単純調査業務

(補助監督 4/9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	－	5	－	0	－5	－10	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					28	－	14	－	0	－14	－28	
実施状況 の評価	品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☒ ☐ 1. 業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☒ ☐ 2. 業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 使用にあたって、事前に監督職員の承諾を得ている。 ☐ ☐ 3. 技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 4. 業務の実施にあたり、調査地点の確認を行い、業務実施に必要な現地の状況を把握している。 調査地点の確認に際しては、調査対象項目を整理し、監督職員の承諾を得ている。 ☒ ☐ 5. 資料の提出時に、転記・計算ミスがなく内容のチェックを行っている。 ☐ ☐ 6. 過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 ☐ ☐ 7. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☐ ☐ 8. 主任技術者が業務実施に必要な情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるか について照査が行われている。 ☐ ☐ 9. 実施方針や方法が適切であるかの照査が適正に行われている。									☐ 品質管理につ いて、監督職 員が文書で改 善指示を行っ た。	☐ 品質管理につ いて、監督職 員の文書によ る改善指示に 従わなかった。

(3) 単純調査業務

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)

(3) 単純調査業務

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					4	3	2	1	0	—	—
実施状況 の評価	創意工夫 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは調査・解析等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ ☐ 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ☐ ☐ 3. 品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。 ☐ ☐ 4. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、分かりやすく、説明しやすい。 ☐ ☐ 5. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体記述() ●評価点 * 業務評定、主任技術者、担当技術者の評価に反映。 ●判断基準 上記の項目のレ点の数により、4点(a), 3点(a'), 2点(b), 1点(b'), 0点(c)で評価する。 ※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は4点(a)の加算評価も可)									

(3) 単純調査業務

(補助監督 7/9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e		
					6	-	3	-	0	-3	-6		
説明調整 能力の評 価	説明調整 能力 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☒ ☐ 1. 業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。 ☐ ☐ 2. 業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。 ☒ ☐ 3. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☒ ☐ 4. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☒ ☐ 5. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ ☐ 6. 調査業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ ☐ 7. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 ☐ ☐ 8. 関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。 ☐ ☐ 9. 発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ ☐ 10. 車輛の運転・駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 ☐ ☐ 11. その他 [] (対象: 主任、担当技術者)										☐ 説明調整につ いて、監督職 員が文書で改 善指示を行っ た。	☐ 説明調整につ いて、監督職 員の文書によ る改善指示に 従わなかった。

(3) 単純調査業務

(補助監督 8/9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	－	3	－	0	－3	－6
説明調整 能力の評 価	説明調整 能力 (2/2)	◎評価は1～11のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)									

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	-	5	-	0	-5	-10	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					12	-	6	-	0	-6	-12	
結果の評価	成果品の品質 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☒ 1. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項が漏れなくとりまとめられている。 ☐ 2. 現地踏査の結果が、写真や図面によりの確に整理されている。 ☐ 3. 写真管理が適切に行われ、状況が容易に把握できる。 ☒ 4. 調査結果のとりまとめにおいて、ミスがなかった。 ☒ 5. 調査結果がわかりやすく整理され、工夫が見られる。 ☐ 6. 多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し、必要な作業(業務)成果が得られた。 ☒ 7. 業務報告書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説されとりまとめられている。 ☐ 8. その他 [] ☐ 成果品について、監督職員が文書で改善指示を行った。 ☐ 成果品について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。										
				①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(0)								

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)

(3)単純調査業務

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	－	－
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					25	19	12.5	7	0	－	－
実施状況 の評価	業務特性 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。 ☐ ☐ 2. 都市部等の作業環境、社会条件等への対応が評価できる。 ☐ ☐ 3. 厳しい自然、条件への対応が評価できる。 ☐ ☐ 4. 業務の特殊性への対応が評価できる。 ☐ ☐ 5. 関連する事業、工事に配慮する必要がある、その対応が評価できる。 ☐ ☐ 6. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、評価できる。 ☐ ☐ 7. その他 []									
●評価点 点 * 業務評定、主任技術者の評価に反映。					●評価点 点 * 担当技術者の評価に反映。						
※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば業務評定、主任技術者は7.5点(b'), 担当技術者は7点(b')評価以上とする。 業務評定、主任技術者は20点(a), 15点(a'), 10点(b), 7.5点(b'), 0点(c)で評価する。 担当技術者は25点(a), 19点(a'), 12.5点(b), 7点(b'), 0点(c)で評価する。											

(3)単純調査業務

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	－	－
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					15	12	7.5	4	0	－	－
取組姿勢	責任感・ 積極性・ 倫理観 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 1. 業務遂行にあたって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して評価できるものがあった。 ☐ ☐ 2. 業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど評価できるものがあった。 ☐ ☐ 3. 業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり評価できるものがあった。 ☐ ☐ 4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあった。 ☐ ☐ 5. その他 [] ●評価点 点 * 業務評定、主任技術者の評価に反映。 点 * 担当技術者の評価に反映。 ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、業務評定、主任技術者は10点(a), 7.5点(a'), 5点(b), 2.5点(b'), 0点(c)で評価する。 担当技術者は15点(a), 12点(a'), 7.5点(b), 4点(b'), 0点(c)で評価する。 ※監督職員は、補助監督職員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は補助監督職員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は業務評定、主任技術者は10点(a), 担当技術者は15点(a)評価も可)									

(3)単純調査業務

(検査職員 1/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
実施能力 の評価	実施体制 と執行計 画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 1. 主任技術者は、業務遂行段階で適切に照査技術者による照査を受け、その内容を把握して円滑な業務遂行に努めている。 ☒ ☐ 2. 業務計画書が契約締結後すみやかに提出されている。 ☒ ☐ 3. 業務計画書は、設計図書に定められた必要な事項を記載し業務内容に適した業務計画書が提出されている。 ☒ ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足し指摘や修正がない。 ☒ ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図表等による工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ ☐ 6. 業務計画書の記載内容と調査方法が一致し、現地環境を乱さず調査していることが確認できる。 ☐ ☐ 7. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導、管理を行い、かつ、委託先の成果物に対する照査を行っていることが書面で確認できる。 ☐ ☐ 8. 守秘義務について具体的な計画を業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 9. 個人情報の管理に関する管理体制等を業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 10. その他								☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
◎評定は1～9のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)=該当項目数(0)／評価対象項目数(0)						

(3)単純調査業務

(検査職員 2/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	－	5	－	0	－5	－10	
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	－	10	－	0	－10	－20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					12	－	6	－	0	－6	－12	
実施状況 の評価	品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)									☐ 品質管理につ いて、監督職 員が文書で改 善指示を行っ た。	☐ 品質管理につ いて、監督職 員の文書によ る改善指示に 従わなかった。
		☒ ☐ 1. 設計図書の内容を十分に理解し、業務に反映している。 ☐☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め業務計画書に記載している。 ☐☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして業務の節目においてその成果の確認を行うとともに、自身による照査を行っている。 ☐☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名捺印の上、主任技術者に提出している。 ☐☐ 5. 品質確保のための社内検査体制が確立され、その体制で検査を行ったことが確認できる。 ☒ ☐ 6. 「業務計画書」において成果物の品質を確保する記述があり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☒ ☐ 7. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。 ☒ ☐ 8. 業務遂行にあたり、チェックシート等を作成し、作業中のミス防止の実施に努めている。 ☐☐ 9. その他 [] (対象:主任、担当技術者)										

(3) 単純調査業務

(検査職員 3/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				10	－	5	－	0	－5	－10	
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				20	－	10	－	0	－10	－20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				12	－	6	－	0	－6	－12	
実施状況 の評価	品質管理 (2/2)	◎評価は1～9のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)									

(3)単純調査業務

(検査職員 4/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	－	10	－	0	－10	－20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					28	－	14	－	0	－14	－28	
結果の評 価	成果品の 品質 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☒ ☐ 1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☒ ☐ 2. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすく整理されている。 ☐ ☐ 3. 設計業務への引き継ぎ事項、技術的ポイントが整理されている。 ☐ ☐ 4. 現地踏査の結果より判明した対応が必要な事項についての対策が記載されている。 ☒ ☐ 5. 作業(業務)遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 ☒ ☐ 6. 必要書類等が整備されていた。 ☒ ☐ 7. 誤字・脱漏、記載ミスなどが無い。 ☒ ☐ 8. 理解しづらい文章表現などがなく、わかりやすい成果となっている。 ☒ ☐ 9. 個々の説明において、図や表を活用するなどわかりやすい成果となっている。 ☐ ☐ 10. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切にとりまとめられている。									☐ 成果品について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

(3) 単純調査業務

(検査職員 5/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e		
					20	－	10	－	0	－10	－20		
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e		
				28	－	14	－	0	－14	－28			
結果の評 価	成果品の 品質 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 11. 成果物に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。 ☐ ☐ 12. 成果物のチェック方法に工夫が見られた。 ☐ ☐ 13. 成果物は、独自に設定した社内基準を満足し、調査精度の向上に繋がったものである。 ☐ ☐ 14. その他]											
		◎評定は1～14のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c											
①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)													

業務委託成績評定表														
(3)測量業務			令和 年 月 日											
			事務所名： 局 部 課											
業 務 名														
契 約 金 額			当初：				円		最終：				円	
履 行 期 間			当初：		令和 年 月 日		～ 令和 年 月 日		最終：		令和 年 月 日		令和 年 月 日	
契 約 番 号			第 号											
完 了 検 査 年 月 日			令和 年 月 日											
完 了 検 査 年 月 日			令和 年 月 日											
契 約 相 手 方 住 所 氏 名			所在地											
			名称				役職・氏名							
管 理 技 術 者 氏 名														
照 査 技 術 者 氏 名 ①														
照 査 技 術 者 氏 名 ②														
業 務 責 任 者 氏 名														
主 任 技 術 者 氏 名														
担 当 技 術 者 氏 名 ①														
担 当 技 術 者 氏 名 ②														
担 当 技 術 者 氏 名 ③														
監 督 職 員 所 属 ・ 氏 名														
補 助 監 督 職 員 所 属 ・ 氏 名														
検 査 職 員 所 属 ・ 氏 名														
評 価 項 目			業務評定 (注1) (⑤×0.4+⑥×0.2+⑦×0.4)			補助監督職員 (注1) ⑤	監督職員 (注1) ⑥	検査職員 (注1) ⑦						
			評定点	評価点	基礎点									
プ ロ セ ス 評 価	実施能力の 評価	実施体制及び 執行計画			12.0									
	実施状況の 評価	執行管理			3.0		—	—						
		品質管理			12.0		—							
		業務特性			6.0	—		—						
		創意工夫			2.4		—	—						
	説明調整能力の 評価	説明調整能力			3.6		—	—						
	取組姿勢	責任感・積極性・ 倫理観			3.0	—		—						
結果評価	成果品の品質				18.0		—							
①小計 (注2)					60	—	—	—						
②事故等による減点						—	—	—						
③瑕疵修補又は損害賠償による減点						—	—	—						
④その他()						—	—	—						
総合評定点＝①＋②＋③＋④						—	—	—						
所 見			補助監督職員			監督職員		検査職員						

注) 1. 各評価項目の評定点は、小数第二位を四捨五入して表示している。

2. ①小計は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

(3)測量業務

(補助監督職員 1/9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
実施能力 の評価	実施体制 と執行計 画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)	(選択)のチェックボックスに赤色着色がある項目は基本「必須」項目 ☒ ☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☒ ☐ 3. 主任技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☒ ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☒ ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ☒ ☐ 6. 業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な 手順、手法である。 ☒ ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ ☐ 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。 ☐ ☐ 9. その他 [] (対象:主任、担当技術者)							☐ 実施体制及び 執行計画につ いて、監督職 員が文書で改 善指示を行っ た。	☐ 実施体制及び 執行計画につ いて、監督職 員の文書によ る改善指示に 従わなかった。
◎評定は1～9のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)						

(3)測量業務

(補助監督職員 2/9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					5	－	2.5	－	0	-2.5	-5	
実施状況 の評価	執行管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)									☐ 執行管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		☒ ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ☒ ☐ 2. 契約締結後すみやかに業務等に着手している。 ☐ ☐ 3. テクリスへの登録申請を監督職員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ☒ ☐ 4. 監督職員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ ☐ 5. 監督職員の指示事項に迅速に対応している。 ☒ ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☒ ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ ☐ 8. 業務打合せ書は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ ☐ 9. 支給材料がある場合、その受払状況を登録した帳簿を備え付け、常にその残高を明らかにし、業務完了時には支給品精算書を提出している。 ☐ ☐ 10. 業務計画書の業務工程(表)は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ ☐ 11. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。										

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5	
実施状況 の評価	執行管理 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 12. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 13. 貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 ☐ ☐ 14. 第三者の土地等の立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 15. 第三者の土地への立ち入りにあたって交付を受けた身分証明書は、立入完了後10日以内に返却されている。 ☐ ☐ 16. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 17. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☒ ☐ 18. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 ☐ ☐ 19. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督職員に提出している。 ☐ ☐ 20. その他 () (対象:主任、担当技術者)										
		◎評定は1～20のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c										

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)

(3)測量業務

(補助監督職員 4/9)

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	－	5	－	0	－5	－10	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					28	－	14	－	0	－14	－28	
実施状況 の評価	品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☒ ☐ 1. 業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☒ ☐ 2. 業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 使用にあたって、事前に監督職員の承諾を得ている。 ☐ ☐ 3. 技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☒ ☐ 4. 測量精度向上のための社内基準等を設けている。 ☐ ☐ 5. 業務の実施にあたり、調査地点の確認を行い、業務実施に必要な現地の状況を把握している。 調査地点の確認に際しては、調査対象項目を整理し、監督職員の承諾を得ている。 ☒ ☐ 6. 資料の提出時に、転記・計算ミスがなく内容のチェックを行っている。 ☐ ☐ 7. 過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 ☐ ☐ 8. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☐ ☐ 9. 主任技術者が業務実施に必要な情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるか について照査が行われている。 ☐ ☐ 10. 実施方針や方法が適切であるかの照査が適正に行われている。									☐ 品質管理につ いて、監督職 員が文書で改 善指示を行っ た。	☐ 品質管理につ いて、監督職 員の文書によ る改善指示に 従わなかった。

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	－	5	－	0	－5	－10	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					28	－	14	－	0	－14	－28	
実施状況 の評価	品質管理 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 11. 測量の正確性、適切性に着目し照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 12. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ☒ ☐ 13. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行った。もしくは提案がされている。 ☐ ☐ 14. 資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、監督職員の承諾を得て実施している。 ☒ ☐ 15. 現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、監督職員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 16. その他 [] (対象:主任、担当技術者)										
		◎評定は1～16のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c										

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%) = 該当項目数(Q) / 評価対象項目数(Q)

(3)測量業務

(補助監督職員 6／9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					4	3	2	1	0	—	—
実施状況 の評価	創意工夫 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは調査・解析等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ ☐ 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。									

☐☐☐☐☐☐具体記述()

●評価点

* 業務評定、主任技術者、担当技術者の評価に反映。

●判断基準

上記の項目のレ点の数により、1点から4点の加算評価とする。

※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。

(例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は4点(a)の加算評価も可)

(3) 測量業務

(補助監督職員 7/9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	-	3	-	0	-3	-6
説明調整 能力の評 価	説明調整 能力 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 説明調整について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 説明調整について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		☒ ☐ 1. 業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。	☐ ☐ 2. 業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。	☒ ☐ 3. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。	☒ ☐ 4. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。	☒ ☐ 5. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。	☐ ☐ 6. 測量業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。	☐ ☐ 7. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。	☐ ☐ 8. 関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。		

(3) 測量業務

(補助監督職員 8/9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	－	3	－	0	－3	－6
説明調整 能力の評 価	説明調整 能力 (2/2)	◎ 評価は1～11のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)									

(3) 測量業務

(補助監督職員 9/9)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	－	5	－	0	－5	－10
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					12	－	6	－	0	－6	－12
結果の評価	成果物の 品質 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 成果品について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		☒ ☐ 1. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項が漏れなくとりまとめられている。 ☐ ☐ 2. 現地踏査の結果が、写真や図面によりの確に整理されている。 ☐ ☐ 3. 写真管理が適切に行われ、状況が容易に把握できる。 ☒ ☐ 4. 調査結果のとりまとめにおいて、ミスがなかった。 ☒ ☐ 5. 調査結果がわかりやすく整理され、工夫が見られる。 ☐ ☐ 6. 多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し、必要な作業(業務)成果が得られた。 ☒ ☐ 7. 業務報告書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説されとりまとめられている。 ☐ ☐ 8. その他 [] ◎評定は1～8のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c									
①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)											

(3) 測量業務

(監督職員 1/3)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
実施能力 の評価	実施体制 と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)									
		☐ ☐ 1. 主任技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ ☐ 2. 主任技術者は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 ☐ ☐ 3. 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 ☐ ☐ 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 ☐ ☐ 5. 業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。 ☐ ☐ 6. その他 []									
		●評価点 * 業務評定、主任技術者の評価に反映。									
		●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、10点(a), 7.5点(a'), 5点(b), 2.5点(b'), 0点(c), -5点(d), -10点(e)で評価する。 ※監督職員は、補助監督職員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は補助監督職員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は10点(a)評価も可) ※業務執行上の過失として補助監督職員(完了検査官)細別評価項目において-5点(d)または-10点(e)評価があった場合、 -5点(d)評価以下とし「その他」に理由を記載すること。									

(3)測量業務

(監督職員 2/3)

考査項目	細 別	選 択 区 分	評 価 区 分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	－	－
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				25	19	12.5	7	0	－	－	

実施状況
の評価

業務特性
(1/1)

●評価対象項目
(選択) (評定)

☐ ☐ 1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。

☐ ☐ 2. 都市部等の作業環境、社会条件等への対応が評価できる。

☐ ☐ 3. 厳しい自然、条件への対応が評価できる。

☐ ☐ 4. 業務の特殊性への対応が評価できる。

☐ ☐ 5. 関連する事業、工事に配慮する必要がある、その対応が評価できる。

☐ ☐ 6. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、評価できる。

☐ ☐ 7. その他 []

●評価点

点

* 業務評定、主任技術者の評価に反映。

●評価点

点

* 担当技術者の評価に反映。

※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば業務評定、主任技術者は7.5点(b'), 担当技術者は7点(b')評価以上とする。
業務評定、主任技術者は20点(a), 15点(a'), 10点(b), 7.5点(b'), 0点(c)で評価する。
担当技術者は25点(a), 19点(a'), 12.5点(b), 7点(b'), 0点(c)で評価する。

(3) 測量業務

(監督職員 3/3)

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
取組姿勢	責任感・ 積極性・ 倫理観 (1/1)			業務、 主任技術者	10	7.5	5	2.5	0	－	－
				担当技術者	15	12	7.5	4	0	－	－

●評価対象項目
(選択) (評定)

☐ ☐ 1. 業務遂行にあたって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して評価できるものがあった。

☐ ☐ 2. 業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど評価できるものがあった。

☐ ☐ 3. 業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり評価できるものがあった。

☐ ☐ 4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあった。

☐ ☐ 5. その他 []

●評価点

点

* 業務評定、主任技術者の評価に反映。

●評価点

点

* 担当技術者の評価に反映。

●判断基準

上記該当項目を総合的に判断して、業務評定、主任技術者は10点(a), 7.5点(a'), 5点(b), 2.5点(b'), 0点(c)で評価する。
 担当技術者は15点(a), 12点(a'), 7.5点(b), 4点(b'), 0点(c)で評価する。

※監督職員は、補助監督職員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。
 (業務履行過程での日々の対応の評価は補助監督職員が実施)

※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。
 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は業務評定、主任技術者は10点(a), 担当技術者は15点(a)評価も可)

(3)測量業務

(検査職員 1/5)

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
実施能力 の評価	実施体制 と執行計 画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 1. 主任技術者は、業務遂行段階で適切に照査技術者による照査を受け、その内容を把握して円滑な業務遂行に努めている。 ☒ ☐ 2. 業務計画書が契約締結後すみやかに提出されている。 ☒ ☐ 3. 業務計画書は、設計図書に定められた必要な事項を記載し業務内容に適した業務計画書が提出されている。 ☒ ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足し指摘や修正がない。 ☒ ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図表等による工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ ☐ 6. 業務計画書の記載内容と測量方法が一致し、現地環境を乱さず測量していることが確認できる。 ☐ ☐ 7. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導、管理を行い、かつ、委託先の成果物に対する照査を行っていることが書面で確認できる。 ☐ ☐ 8. 守秘義務について具体的な計画を業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 9. 個人情報の管理に関する管理体制等を業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 10. その他 []								☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
◎評定は1～10のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)=該当項目数(0)÷評価対象項目数(0)						

(3) 測量業務

(検査職員 2/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	－	5	－	0	－5	－10	
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	－	10	－	0	－10	－20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					12	－	6	－	0	－6	－12	
実施状況 の評価	品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)									☐ 品質管理につ いて、監督職 員が文書で改 善指示を行っ た。	☐ 品質管理につ いて、監督職 員の文書によ る改善指示に 従わなかった。
		☒ ☐ 1. 設計図書の内容を十分に理解し、業務に反映している。										
		☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め業務計画書に記載している。										
		☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして業務の節目においてその成果の確認を行うとともに、 自身による照査を行っている。										
		☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名捺印 のうえ、主任技術者に提出している。										
		☐ ☐ 5. 品質確保のための社内検査体制が確立され、その体制で検査を行ったことが確認できる。										
		☒ ☐ 6. 「業務計画書」において成果物の品質を確保する記述があり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。										
		☒ ☐ 7. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。										
		☒ ☐ 8. 業務遂行にあたり、チェックシート等を作成し、作業中のミス防止の実施に努めている。										
		☐ ☐ 9. その他 [] (対象:主任、担当技術者)										

(3) 測量業務

(検査職員 3/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 主任技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	－	5	－	0	－5	－10
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	－	10	－	0	－10	－20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					12	－	6	－	0	－6	－12
実施状況 の評価	品質管理 (2/2)	◎評定は1～9のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)									

(3)測量業務

(検査職員 4/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	－	10	－	0	－10	－20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					28	－	14	－	0	－14	－28	
結果の評価	成果品の 品質 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)									☐ 成果品について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		☒ ☐ 1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。	☒ ☐ 2. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすく整理されている。	☐ ☐ 3. 設計業務への引き継ぎ事項、技術的ポイントが整理されている。	☐ ☐ 4. 現地踏査の結果より判明した対応が必要な事項についての対策が記載されている。	☒ ☐ 5. 作業(業務)遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。	☒ ☐ 6. 必要書類等が整備されていた。	☒ ☐ 7. 誤字・脱漏、記載ミスなどが無い。	☒ ☐ 8. 理解しづらい文章表現などがなく、わかりやすい成果となっている。	☒ ☐ 9. 個々の説明において、図や表を活用するなどわかりやすい成果となっている。		

(3) 測量業務

(検査職員 5/5)

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、主任、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	-	10	-	0	-10	-20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
				28	-	14	-	0	-14	-28		
結果の評価	成果品の 品質 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 11. 成果物に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。 ☒ ☐ 12. 成果物のチェック方法に工夫が見られた。 ☐ ☐ 13. 成果物は、独自に設定した社内基準を満足し、測量精度の向上に繋がったものである。 ☐ ☐ 14. その他]										
		◎評定は1～14のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c									①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0%)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0)	